

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	担当部署	最新の進捗状況等
町会の加入率が低い。加入率60％くらい。	加入率向上や地域コミュニティ活性化などの取組みについて、好事例を取りまとめ、校区長や町会長に情報提供するように担当課に指示している。	自治振興課	今後もそれぞれの事情に応じて個別に対応するとともに、校区長会議等を通じて適切に情報提供を行ってまいります。
真谷川（福田鯉蛤池デニスコートの裏側の川）を市で管理して欲しい。ここ数年清掃してくれていないので、木が生えてゴミが溜まってきた。以前町内で清掃していたが、怪我人が出たため市が清掃することになった。	今後も問い合わせいただければ、下水道河川整備課にて対応する。	下水道河川整備課	令和7年7月11日に、樹木の伐採作業を完了しております。
バスの本数が少なく、乗り換え必要で不便。岸和田駅、市民病院、徳洲会病院までのバスが欲しい。本数を増やしてほしい。	光明地区で運行している路線バス福田線（市民病院、岸和田駅へも停車）については利用者が低迷しており、現在は、南海ウイングバスへの運行補助や様々な利用促進策（新規ルート、バス停設置、ローズバスとの乗り継ぎ改善等）を進めることで維持している状況。市民病院へは下松駅でローズバス、徳洲会病院へは岸和田駅で東ヶ丘線に乗り換えるとかうことができる（徳洲会病院、徳洲会クリニック、葛城病院へは、病院の送迎バスでも行くことが可能）。	交通まちづくり課	市内全域における路線バスの維持・確保に向けた取り組みを推進しています。
中央線の歩道が草だらけ。すいどう道ローソンより山側歩道、速度表示がない、防犯灯がない。尾生町通学路の歩道白線が消えている。危険箇所は、点滅サインなど設置して欲しい。	岸和田中央線は大阪府の道路であるため、7月11日(金)に岸和田土木事務所へ連絡済。速度表示に関しては、警察の所管であるため、7月11日(金)に岸和田警察署へ連絡済。	道路整備課	防犯灯につきましては、府や市による直接的な設置は困難ですが、関係地域との協議・調整を行い、設置可能な手法について継続的に検討を進めています。
尾生町通学路の歩道白線が消えている。危険箇所は、点滅サインなど設置して欲しい。	通学路の歩道白線については、岸和田警察署へ連絡済。危険箇所については、現地を調査したうえで危険と判断できれば、＋字マークの強調等で対応の可能性がある。	道路整備課	横断歩道につきましては、既に岸和田警察署へ情報提供を行いました。また、危険箇所につきましては、要望段階で具体的な場所や内容の特定が困難であったため、今後詳細な情報を共有いただければ、調査のうえ対策の可否を判断いたします。
田治米畑町線の今後の工事計画を尾生町にも説明して欲しい。どう計画していくのか不安。	田治米畑町線については、令和2年度に事業認可を取得し、現在事業中。都市計画道路事業であり、まずは道路用地の確保に向けての作業が中心で、令和7年度からは星和上松台側の地蔵講池の埋立工事に着手していくが、今後の用地確保の進捗状況に応じた工事計画をし、工事着手前には地元関係町会への説明を行っていく。	道路整備課	令和8年1月30日に事業認可を延伸し、事業完了年度を令和15年度まで延長いたしました。令和7年度からは地蔵講池の埋立工事に着手しており、今後も用地確保の進捗状況に応じた工事計画を進めるとともに、着手前には地元関係町会への説明を行ってまいります。
岸和田中央線から国道26号までの延伸計画はどうなったのか。	岸和田中央線については、大阪府事業路線となっており、引き続き大阪府に対し、事業化に向けた検討を進めるよう協議していく。	都市計画課	
泉州山手線の延伸はどうなってるか。泉北高速鉄道の延伸は。	南海泉北線の延伸は多くの市民が期待されているが、同時に実現にあたっては長期的な取り組みとなる。まずは泉州山手線の整備と沿線のまちづくりの進捗に合わせて、その状況に合わせた最適な公共交通を導入していくことも重要であり、具体的には泉州山手線の整備に合わせて基幹的な路線バス等の公共交通の導入から始めたいと考えている。	交通まちづくり課	泉州山手線と沿道まちづくりの進捗に伴い、同路線への基幹的な公共交通の導入に向け、国や府等の関係機関との協議に着手しています。
企業誘致して欲しい。	山直東地区はこれから開発。	産業政策課 都市整備課	市域への企業の新規立地や市域外への移転防止を図るため、産業集積拠点および産業促進地区の立地企業に対する助成制度等により支援を実施しています。また、木材コンビナート貯木場を所管する大阪府と連携し、産業誘致を含む埋立後の土地利用の検討を進めています。なお、ゆめみヶ丘岸和田の企業誘致が概ね完了したことから、今後は泉州山手線の延伸に合わせて、山直東地区の企業誘致を推進してまいります。
世帯数も増えてきたので尾生町にスーパーを誘致して欲しい。	あらゆる機会を通じて民間とのマッチング等、模索していきたい。	まちづくり推進部	
尾生町内公園8か所全てにおいて、草木が生い茂っており、休憩するベンチも草で座れなくなっている。緑道もはみ出している。春木川轟川の清掃。	第6公園のみ除草完了。尾生久米公園については、町会との縁故関係が希薄であるため、町会管理委託も断られている状況。指定管理直営での除草を依頼済み。	公園緑地課	尾生久米田土地区画整理事業地内の8公園につきましては、現在、町会による管理委託の受け入れが困難な状況です。そのため、当面は指定管理者による維持管理作業を進めてまいります。
市庁舎は進んでいるか。現庁舎はどうなる。	新庁舎については、opsol福祉総合センター横の敷地への建設が決まっている。	庁舎建設準備課 成長戦略課	現庁舎の有効活用策につきましては現在白紙の状態ですが、今後は新たな観光客呼び込み仕掛けも含め、効果的な跡地利用に向けた検討を進めてまいります。
ふるさと寄附、特産品のPR。	受託事業者とともに取り組んでいる。	成長戦略課	返礼品協力事業者は108社、返礼品数は約1,545品目に増加した。今後も引き続き、新規開拓を推進します。
新斎場がどのようになるか、市のホームページや広報紙で紹介して欲しい。告別式、初七日、食事などできるのか、今とどう変わるのか。	岸和田市貝塚市斎場は来年4月から供用を開始し、運営主体は本市から岸和田市貝塚市広域事務組合へ移行する。施設内への飲食物の持ち込みは可能。秋頃に貝塚市と歩調合わせて情報発信する予定。	市民課	令和8年4月1日より供用を開始し、市および広域事務組合のホームページに施設案内等を掲載しています。現在は、旧斎場の解体や正門・車道ルートの造成など、全面開場に向けた整備を進めています。
光明こども園になる。公立に入れなくて民間に入る場合ある。公立の意義も考えて。	現計画では、公立認定こども園を6つは設置する。	こども政策課	現在、幼保再編個別計画【中期計画】を着実に進めるとともに、次期【後期計画】の策定に取り組んでいます。なお、各園域に1箇所以上の公立施設を設置する方向で検討を進めています。
市民病院の赤字分は一般財源で賄われている訳ではない。結局は、14億円というのは地方交付税が入ってくる。民間委託すれば、医師が来ない診療科がなくなる可能性がある。市民の健康にかかわる。	一般会計から病院事業会計への繰り出しは、総務省が示す公営企業繰出基準に基づいて行われており、その所要額の一部は国から一般会計に対して地方交付税等による財政措置がされている（令和6年度：繰出額1,400,000,000円、地方交付税措置額949,405,523円）。	市民病院事務局	